

民報あばしり

NO.1060

2016.3.13

発行所

日本共産党
網走市委員会
網走市北八三三
四三三・四四五八
F 四三三・四四五七



平成27年度 補正予算案可決



第1回定例会が2日から始まり、平成27年度一般会計補正予算の15億9,412万円が追加提案され、2つの常任委員会に付託されました。

3月4日の総務経済委員会では、総務費の「ふるさと寄附金の増に伴う経費の追加」など10件、農林水産業費の「長いもの高付加価値化のための機能性分析等に係る経費の追加」など8件、労働費、商工費、観光費、土木費、消防費、災害復旧費など6件と各会計人件費、市有財産特別会計、公共下水道特別会計、流水館特別会計の補正予算が審議されました。

7日の文教民生委員会では、戸籍住民基本台帳費の「マイナンバーカードの交付に係る経費の追加」をはじめ、民生費の子ども・子育て支援事業など10件、衛生費、教育費など3件と国民健康保険特別会計、介護保険特別会計、後期高齢者医療特別会計の補正予算が審査されました。

これらの補正予算の多くは、国の地方創生加速化交付金を活用しての予算で、今年行われる参議院選挙に向けての安倍内閣のバラマキとも言われていて、そのほとんどが平成27年度中に事業ができないことから翌年度（平成28年度）に繰越して事業が行われます。

9日の本会議では、2つの常任委員会の審査報告が各委員長から行われました。

討論で、日本共産党の松浦敏司議員は、「マイナンバーカードの交付に係る経費の追加について、昨年の9月、12月の議会でマイナンバーカードについては国民の理解が不十分であり、個人情報流出の恐れがあることなど、この事業について凍結・中止の立場を表明してきた。

また、マイナンバーのシステムで不具合が生じて、マイナンバーを受け取れない事例が全国で相次いでいる。網走でも4時間にわたってつながらないことがあったように、国民・市民に不安が増すばかりである。このような状況でのマイナンバーカードの推進には疑問であり中止を求めるとして反対しましたが、採決の結果、松浦議員以外の賛成で可決されました。

アサイチ

3月末日をもって閉店!

60年もの伝統をもち、市民の皆さんに親しまれてきた協同組合アサイチが3月末日で解散することが決まりました。アサイチは昭和30年、元の大下水の場所が発足し、昭和47年に現在地の南4条西3丁目に移転しました。

移転当時は、花や鮮魚・肉・野菜類のほか生活に欠かせない物を扱う12店舗で再スタートし、市民の身近かな市場として今日まで続いてきました。しかし、大型店の進出などで次々と店舗が撤退し、現在は3店舗での営業でした。

松浦 奮戦メモ

先日、市民健康プールに行き、関係者からプールに対する意見を聞くため、スポーツ店で水泳用パンツを買って、生まれて初めてプールに入りました。

多目的プールで参加者のみなさんと1時間びっしり運動しましたが、水の抵抗は大変なもので、水に慣れていないのでバランスがとれずふらついてしまいました。

水流の逆方向に向かっていたの歩行は、初心者の私には大変厳しい運動でした。私以外は、全員が女性でしたが、私は全く動きについて行けず、女性のパワーに圧倒されました。同時に、プールの問題点の硅砂（滑り止め）も実感（足の裏が擦り減る）できましたので、しっかりと取り組んでいきたいと思えます。

予算等審査特別委員会は、11日から18日まで行われます。

大下水から営業して45年になる佐藤鮮魚店は、近年、夏場の網走観光牽引者のスポーツ合宿参加者が数多く訪れ、確かな網走の鮮魚をおみやげとして買い求める安心の店として存在してきました。



閉店の知らせを聞いた実業団陸上の合宿で毎年来網しているある監督は「近くのホテルに宿泊し、練習帰りに立ち寄ると缶ビールと新鮮な刺身やカニなどを用意し歓待してくれました。土産物も全国どこに出しても自慢できる物ばかりでした。閉店は本当に残念です」と語っていました。

流水

「明かりをつけましょぼんぼりに お花をあげましょ桃の花」女の子の健康と幸せを願って祝う3月3日雛祭り。娘が生まれた時、毎年1段ずつ送ってくれた夫の実家。7段目の

年は、小学校入学だったなァ。大切な思い出の詰まった我が家の財産である。しかし、いつの間にか、手作り壁掛けだけで省略してきた。お人形たちは箱の中で、今年も面会できず、悲しい顔をしているのではないのかと。この夏5年ぶりに帰国する40代の娘たちとお雛様を飾って祭りを再開したいと思っている。▼今年の雛ケキが届いた日、Nさん達と持ち寄りの会を開いた。▼こだわりが強く、集団の中でいつもトラブルを起こし傷つけてきたNさんは、母の胃がんを全摘した昨年、「お母さんが死んだら、生きていけない。」と、真剣に心配していた。この日、海苔を巻いた俵おにぎりを作った。見守っていたいたいたTさんも一緒に参加した。Nさんは、装飾音本がアチコちに出てくるピアノ教則本バイエル100番を弾いて、少しづつの成長をうかがえるお祝いに華を添えた。4歳で父親病死後、今年で28歳になる。Nさんと母がこれからは暮らしていく上で、限界が来る。▼こんなに心配しているのに、増税・原発を止めない安倍政治! Nさん、母も、戦争法廃止の署名を知り合いに呼び掛け、集めている。(て)